

(5) 普通会計の資金収支計算書

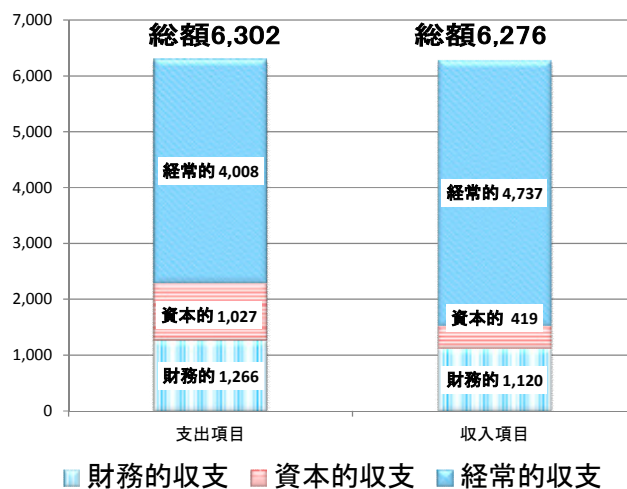
ア 普通会計の資金収支計算書(基準モデル)

〈基準モデル〉

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日) 単位:億円

経常的支出	4,008
経常業務費用支出	1,831
移転支出	2,177
経常的収入	4,737
租税収入	3,098
社会保険料収入	5
経常業務収益収入	328
移転収入	1,306
経常的収支	729
資本的支出	1,027
固定資産形成支出	562
長期金融資産形成支出	466
その他の資本形成支出	0
資本的収入	419
固定資産売却収入	20
長期金融資産償還収入	399
その他の資本処分収入	0
資本的収支	△ 608
財務的支出	1,266
支払利息支出	156
元本償還支出	1,110
財務的収入	1,120
公債発行収入	1,120
借入金収入	0
その他	0
財務的収支	△ 147
当期資金収支額	△ 26
期首資金残高	81
期末資金残高	55

※各項目を四捨五入しているため内訳と合計が一致しないことがあります。



※各項目を四捨五入しているため内訳と合計が一致しないことがあります。

経常的収支区分には、行政サービス活動上継続的に必要な収入と支出が計上されます。本市では平成23年度において、租税収入等の経常的収入が4,737億円あったのに対して、経常業務費用や移転支出として経常的支出が4,008億円計上され、収支は、729億円となりました。

資本的収支区分には、固定資産(施設・土地)や長期金融資産(基金・出資金等)にかかる収入と支出が計上されます。本市では、平成23年度において、長期金融資産償還収入等の資本的収入が419億円あったのに対して、固定資産取得支出及び長期金融資産形成支出として資本的支出が1,027億円計上され、収支は、△608億円と

なりました。

財務的収支区分には、市債の発行・償還・利払等の収支が計上されます。本市では、平成23年度において公債発行収入として財務的収入が1,120億円あったのに対して、公債償還・利払等の財務的支出が1,266億円計上され、収支は、△147億円となりました。

平成23年度においては、経常的収支で生じた729億円の収入超過を資本的収支及び財務的収支にそれぞれ608億円、147億円充てました。結果として期末の資金残高は期首の資金残高より26億円減少し、期末の資金残高は55億円となりました。

イ 基準モデルと改訂モデルの違い

〈基準モデル〉

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日) 単位:億円

経常的支出	4,008
経常的収入	4,737
経常的収支	729
資本的支出	1,027
資本的収入	419
資本的収支	△ 608
財務的支出	1,266
財務的収入	1,120
財務的収支	△ 147
当期資金収支額	△ 26
期首資金残高	81
期末資金残高	55

※各項目を四捨五入しているため内訳と合計が一致しないことがあります。

〈改訂モデル〉

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日) 単位:億円

1 経常的収支の部		
支出	合計	3,854
収入	合計	4,719
経常的収支額		864
2 公共資産整備収支の部		
支出	合計	796
収入	合計	582
公共資産整備収支額		△ 214
3 投資・財務的収支の部		
支出	合計	1,111
収入	合計	434
投資・財務的収支額		△ 677
当年度歳計現金増減額		△ 26
期首歳計現金残高		81
期末歳計現金残高		55

※各項目を四捨五入しているため内訳と合計が一致しないことがあります。

基準モデルでは「経常的収支」「資本的収支」「財務的収支」、改訂モデルでは「経常的収支」「公共資産整備収支」「投資・財務的収支」という性質の異なる三つの活動に大別して記載されます。

経常的収支以外の二つの区分の仕方は基準モデルと改訂モデルで異なります。基準モデルでは、固定資産形成や長期金融資産形成といった資本形成活動に関する「資本的収支」と公債費の償還・発行といった負債の管理に関する「財務的収支」に区分します。

改訂モデルでは、自団体・他団体等を併せた公共資産整備に関する「公共資産整備収支」と、投資及び出資金、貸付金や基金積立などに関する「投資・財務的収支」に区分します。

基本的に期末残高は、両モデルとも貸借対照表の資金と同じとなるので、変わりません。